

## 公開概要書

受付日	6月 8日	回答日	6月30日	担当課	観光交流課空港対策室
意見等の内容	萩・石見空港の活性化のため、以前災害時用物資の備蓄基地を提案したが、それとセットで自衛隊のヘリコプター部隊を誘致し、物資輸送や日本海の高難事故対応などをできるようにすれば、空港の知名度が上がるのではないか。				
回答の内容	<p>萩・石見空港活性化は、空港を設置している島根県と、益田市を始めとする地元近隣の市町、運航事業者である全日本空輸株式会社（ANA）が連携して、搭乗者数を増やす取組みを行っているところです。現時点では、新型コロナウイルスの影響により一時的に利用者は減少しておりますが、東京線2往復運航を活用し、川崎市や文京区などとの都市間交流事業などにより人の流れの拡大を図っているところです。また、交流は地元自治体の主導に限らず、首都圏在住の方が進めておられるプロジェクトも始まっており、今後、萩・石見空港東京線の利用者が増えていくことが期待されます。</p> <p>このように、現路線（東京線、大阪線）の利用者拡大を進めておりますので、ご提案いただきました備蓄基地の整備や自衛隊ヘリコプター部隊の誘致とは施策上合致しておらず、誘致できかねる状況です。</p> <p>ご理解と空港利用促進のご協力を賜りますようお願い申し上げます。</p>				